

宍粟警察署

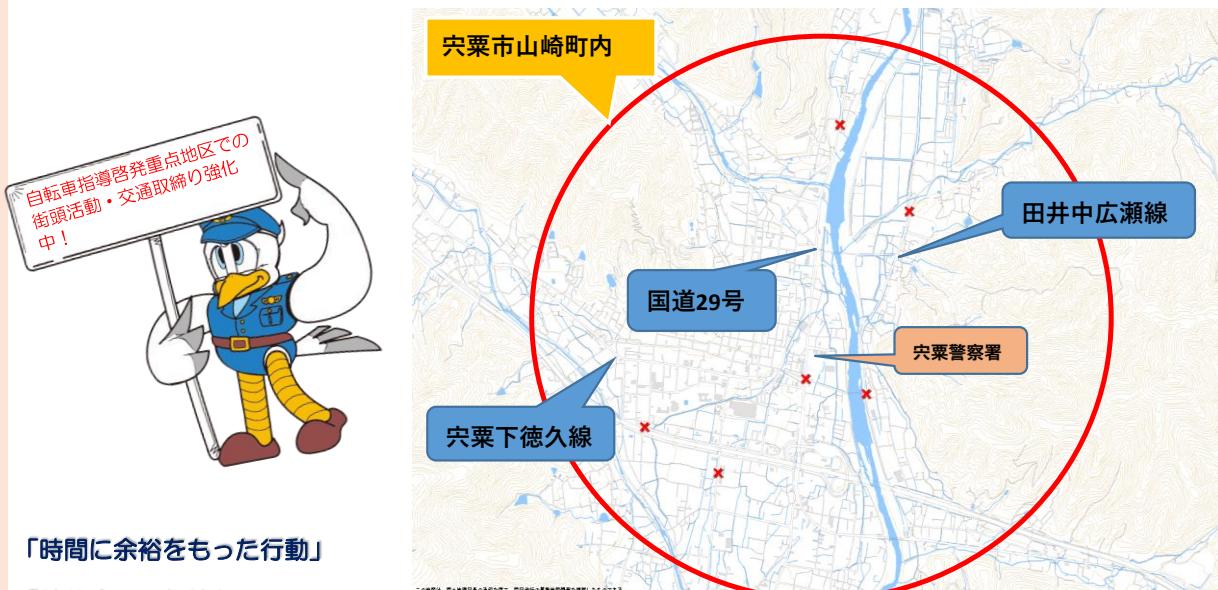
宍粟市には、鉄道が通っておらず、公共の交通手段は、路線バス・高速バス・タクシー等が中心となっていることから、市民の多くは、より利便性の高い自家用車を移動手段として利用しており、地形等の関係から自転車を利用している市民の絶対量は多くないのが実情です。

主要道路としては、市の南北に延びる国道29号で中国自動車道の山崎インターが接続しています。市の東西には、国道429号、主要県道等が延びていますが、市外地域を除けば、信号の設置が少ないとことから、車両の速度が出やすい道路環境になっています。

市内の面積は、兵庫県土約7.8%を占めるほど広大ですが、大部分が山林であることなどから、人口は山崎町に集中する傾向にあり、そのことから商業地域等は、山崎町を中心に分布されています。そのため、山崎町の市街地域では、相対的に自転車の利用者が多く、中学生・高校生等も自転車を利用していることから、自転車が関係する事故は山崎町の市街地域で発生しており、その発生の時間帯は夕暮れ時で、発生の場所は交差点付近となっています。

自転車指導啓発重点地区

警察署	地区・路線	地区又は路線の名称	路線区間	延長距離（m） <概数>
宍粟	地区	山崎町地区		



「間に余裕をもった行動」

「譲り合いの気持ち」

が交通事故を防止する一番の近道です

山崎町地区を選定した理由

- 1 山崎町での発生が全体の10割を占めており、そのほとんどが、宍粟警察署付近を中心に半径約2km圏内で発生している。
- 2 この地域には、小学校、中学校、高校、商業施設や会社も多く、特に、国道29号や田井中広瀬線、一般市道で発生している。



宍粟市内で発生した、令和7年中の自転車が関係する交通事故は約83%が交差点での衝突事故で、学生が当事者となる事故も発生しています。

また、6時～15時の時間帯に多く発生しています。

自転車はクルマやバイクの仲間です！！

- 一時停止標識のある場所では必ず止まる
- 信号を守る
- 車道は左側を走る
- 並走の禁止
- 二人乗りの禁止
- 運転中のながらスマホの禁止
- 酒気帯び運転および帮助の禁止
- ヘルメットをかぶりましょう
- 夜間は必ずライトを点灯

